

外務省 国際協力局 民間援助連携室長 殿

(団体名)特定非営利活動法人名古屋 NGO センター

(NGO相談員氏名) 村山 佳江

## NGO相談員による出張サービス実施報告書

12月1日付貴信にてご承認いただきました、NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたので、ご報告します。

### 記

1.企画名 :国際協力カレッジ 2011～国際協力を学び、行動するきっかけをつかもう!～

【形態:相談対応サービス・講演・セミナー・その他( )】

2.出張者氏名: 認定NPO法人ソムニード 竹内ゆみ子

認定NPO法人アジア日本相互交流センター・ICAN 井川定一

(特活)名古屋NGOセンター 村山佳江

3.催しの概況:

実施日 2011年12月10日(土) 10時00分～17時00分

場所 JICA 中部 なごや地球ひろば(名古屋市中村区)

対象者 学生、社会人など約110名

概要 国際協力分野でボランティアやインターンをしたい人と、ボランティアやインターンを募集中の20の国際協力団体とのマッチングを行う「ボランティア・インターン マッチング展」への相談ブース出展を行った。ブースでは、本日の出展団体以外のNGOの情報が知りたい、NGOへの就職を考えているがどうしたらよいか、といった相談が多く寄せられた。

4.実施内容:



主な相談内容は以下のとおり。

- ・ 本日の出展団体以外のNGOの情報が知りたい
- ・ 現在水産関係の学部の4年生で就職活動中。水産関係の仕事に就職した場合、将来国際協力の仕事に転職できるか不安。
- ・ 子どもを支援しているNGOでボランティアしたい。
- ・ 現在大学4年生。青年海外協力隊に応募し、一次選考が通ったところだが、もし受からなかった場合はNGOでの就職を考えている。NGOのスタッフ募集の情報が知りたい。
- ・ NGOでボランティアしたいが、なかなか一歩が踏み出せない。

20代～30代を中心とした学生や社会人の若者が参加者の多くを占めた。NGOでボランティアしたい、将来NGOで働きたい、青年海外協力隊に参加したいなど、それぞれの今後のキャリアについて、悩みを抱えている方が多かった。考えるだけでなく、まずは一歩を踏み出して頂くよう、アドバイスを行った。

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人ソムニード  
NGO相談員 末武由貴子

NGO相談員による出張サービス実施報告書

NGO相談員による出張サービスを下記の通り実施しましたので報告致します。

記

1. 企画名：ハローギフ・ハローワールド2011  
【形態 **相談対応サービス**・講演・セミナー・その他（ ）】
2. 出張者氏名：末武由貴子
3. 依頼元：ハローギフ・ハローワールド実行委員会  
(岐阜県国際交流団体協議会 (財)岐阜県国際交流センター)
4. 実施日時：平成23年12月3日(土) 10:00~16:00
5. 実施場所：CINEXビルB1F (岐阜県岐阜市日ノ出町2-20)
6. 参加者数：入場者数 約3,000名
7. 相談件数：23件
8. 企画の概要：県下で最も大きな国際イベントで、NGO相談員ブースを設置する。来場者へ、NGOの具体的な活動や中部地域で活動するNGO、地域で参加可能なボランティア等を紹介し、その他、相談者からの質問・相談等に応じる。
9. 実施内容：相談員ブースにて、質問・相談に応じた。主な相談内容は以下の通り。
  - ・ペルーの現地NGOと共に活動を希望する、日本のNGOを紹介して欲しい。
  - ・NGOは国内でどのような活動を行っているか。
  - ・国内でできるボランティアを探している。どこで情報を得られるか、等。
10. 所感及び効果：NGOの国内事業や国内ボランティア、組織運営等についての質問を多く受けた。地方では、当イベントに参加する関心層の方々にとっても、国際協力への興味はあるが、情報を得る機会や、NGO団体と関わる機会は少ないのが現状である。そのような中、今回のようなブース出展は、NGOや国際協力についての情報提供を行うだけでなく、顔を合わせて話しをすることで、NGOや国際協力をより身近なものとして感じて頂ける機会になると感じた。その他、JICA岐阜デスクと隣接してブースを出展し、それぞれの特徴を活かして協力・連携して相談対応を行ったことで、来場者に対しても効果的に対応ができたと感じる。



以上

## 2011（平成23）年度 NGO 相談員出張サービス報告書

報告者：（特活）関西 NGO 協議会 田中十紀恵

### 1. 企画名：国際協力キャリアフェア in 京都 2011

【形態：相談対応サービス・講演 セミナー・その他（ ）】

実施日時：平成23（2011）年12月3日（土）

13時30分～17時30分

場所：立命館大学 衣笠キャンパス（京都市北区等持院北町56-1）

出張者氏名：田中 十紀恵

### 2. 実施内容：

本イベントは、国際協力に興味・関心を持つ学生が、国際協力に関係する業界の全体像を把握し、その上で自分自身がどのような領域でどのように関わるかを考え、自らが計画を立てていくためのキャリアサポートを目的としたセミナーである。

全体のパネルディスカッションののち、国際機関、NGO など、機関・団体ごとに会場を設け、一コマ45分×3回でセミナーと個別相談を実施した。当会は AMDA 社会開発機構と共同でセミナーに出展し、国際協力 NGO の現状と課題、求められる人材や AMDA 社会開発機構および当会の事業内容・業務内容・採用プロセス等を説明した。また、会場からの質問や個別の相談に対応した。



### 3. 集客人数または相談対応件数：

参加者：33人、相談対応件数：15件

※キャリアフェア参加者 述べ203人

### 4. 所感及び効果等：

大学生を対象としたイベントのため、参加者の多くが関西地域の大学生であったが、高校生や、大学卒業生、社会人なども参加していた。質問内容も多岐にわたり、NGO やボランティアに関する全般的な質問から、「自身の専門分野を国際協力 NGO でどう生かすか」といった具体的なキャリア相談、自身のボランティア活動に関する質問などが寄せられた。

参加者全員がかならずしも NGO への就職を目指している（もしくは、キャリアパスの一つとして NGO をとらえている）わけではなく、NGO とはどのようなものか、国際協力に関わる団体や機関についての知識を得たいといった参加者も多い印象であった。当会は3度目の参加となるが、多様な相談に対応するため、NGO 相談員が参加し、個別相談につなげていくことが効果的であると考えられる。

以上

## 相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名：PHD協会の研修生との交流会を通じて国際協力を考える  
※出張形態：講演
2. 出張者：井上理子（(公財)PHD協会職員）
3. 実施日：2011年12月3日（土）（15：30～20：00）
4. 場所：関西学院大学 教育学部
5. 対象者：大学生 15名
6. 実施報告：関西学院大学教育学部岩坂ゼミで講演を行った。参加者は18名を予定していたが、欠席者が3名おり最終的に15名の学生に向けて行なった。場所はキャンパス内ではなく六甲YMCAで行い、部屋も和室で少人数であったため顔の見える距離で輪になり簡単な自己紹介を行った。半分ほどの学生が外国に出向き、文化交流やボランティア活動を行ったりと国際協力について非常に興味のある学生であった。今回は当協会のネパール（26歳）とインドネシア（22歳）からの研修生と学生の年が近いことから、国によってどのように違った人生を送ってきたのかについてお互いの人生を簡単に振り返り述べた。そこから国際協力のあり方について双方向的に話ができる時間を持つようにした。

日本の学生からは家庭環境、人間関係に思い悩み苦しむ日々があったという話があり、それに対して当協会のネパールからの研修生からは「苦勞しているのは途上国の人だけ、先進国と言われている日本では大きな苦勞もないのではと思っていたが、先進国と言われている日本にも思い悩み苦しむ人がいることを知り、先進国であっても途上国であっても人は何も変わらないのだと感じた。」という意見があり、便利なものがないから貧しい、お金がないから苦しい生活をしているというような考えは必ずしも共通するものではないという声が学生からあった。当協会のネパールとインドネシアからの研修生との交流によって、先入観にとらわれ、現地のニーズに合わない一方的な支援は考え直す必要があり、個々の環境を今一度見直す機会となった。

7. 添付画像：当日の様子を3枚添付



関西学院大学 教育学部での出張相談①  
パワーポイントを使って国際協力について話す様子。



関西学院大学 教育学部での出張相談②  
PHD 協会について解説する様子。



関西学院大学 教育学部での出張相談③  
PHD 研修生の地域紹介の様子。

## 相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名 : The First Step to the World～君色の国際協力ここにある～  
※出張形態 : 講演
2. 出張者 : 坂西卓郎 ((公財)PHD協会職員)
3. 実施日 : 2011年12月17日(土) (12:30～16:30)
4. 場所 : 神戸市生涯学習支援センター (神戸市中央区吾妻通 4-1-6)
5. 対象者 : 大学生 80 名
6. 実施報告 : 関西学院大学の学生サークル、Club Geordie 主催のイベントにて講演を行った。参加者は関西学院大学の学生を中心に近畿圏の様々な大学から 80 名が集まった。イベント名は「The First Step to the World ～君色の国際協力ここにある～」というもので、大学生で国際協力には興味を持っているが一步を踏み出せない人たちにきっかけを提供するというものだった。講演のテーマとしては「私が国際協力の分野に進んだ経緯、私の国際協力に対する考え方の変遷」ということで依頼を受けたので、私の人生を通じて NGO や ODA (JICA) の仕事について説明を行った。他にも「学生に期待する国際協力は?」「国内では震災への復興支援で手一杯なのになぜ国際協力をする必要があるのか?」「私が考える国際協力は?」などのテーマについても言及した。国際協力とは海外での活動も重要だが、同時に国内でも活動ができること、私達の生活は世界と繋がっていることを強調した。感想では「アメリカの赤十字でボランティアをしたりと国際志向だったが、国内での活動の必要性を感じた」というものが多くあった。

当日はあわせて NGO 相談員ブースも設けた。坂西と井上の二人で対応した。詳細は別途報告を提出するが、大学生ならではの進路等に関するものがいくつかあった。

全体を通じて NGO 職員と会ったことがない人がほとんどで、私達の生き方を知ることは刺激になったようだった。集まった大学生は国際協力や環境問題に関する知識は豊富であるようだが、国際協力は何か、ということについての認識は通り一遍のものが多かったようで、今回のイベントで根源的に考える機会となったようだった。本イベントのテーマである自分らしい国際協力活動に一步を踏み出していくことを願うばかりである。

7. 添付画像：別紙に当日の様子を4枚添付



CLUB GEORDIE での出張相談「講演」の様子①  
「国際協力とは？」というテーマを解説中



CLUB GEORDIE での出張相談「NGO 相談」の様子①  
大学生からの相談に対応中



平成 24 年 1 月 7 日

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク  
代表理事 竹内よし子 印

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

いつもお世話になっております。

さて、NGO 相談員による出張サービスを下記の通り実施いたしましたのでご報告申し上げます。

記

1. 企画名：「国際交流市民ボランティア入門講座」

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・NGO 相談員デスク】

出張者氏名：林知美

2. 依頼元／主催等団体名：まつやま国際交流センター

3. 実施日時：平成 23 年 12 月 17 日(土) 14 時 00 分～16 時 00 分

4. 実施場所：コムズ 5 階 大会議室（愛媛県松山市三番町 6 丁目 4-20）

5. 実施概要：

「国際交流市民ボランティア入門講座」は、まつやま国際交流センターが開催している 2 回連続の講座で「国際交流に関わる活動をしたいけど、どうしたらいいの？」などボランティアの第一歩を踏み出すきっかけづくりとなることを目的としている。第 1 回は講演とディスカッション、第 2 回は「国際交流活動ガイダンス」と題して、松山市内・近辺で活動する国際交流・協力団体の活動紹介を行った。国際協力・交流活動に興味を持つ方からの相談が多く、当団体の経験を活かした個別対応をするとともに、講座に出席している他団体と連携して相談に対応した。

アフリカやフェアトレードに興味を持つ人、国内ボランティアについて、さまざまな質問・相談があり、それぞれのニーズに合わせた対応を行った。以下は当日行った相談対応の内容である。

- ① 無職・女性：国内でできる国際協力ボランティア内容について、自分にどのような活動ができるのかわからないので教えてほしいと相談があり、当団体の活動紹介、四国を拠点に活動する国際協力団体のボランティア参加の方法を紹介した。当団体のボランティアを希望されたので登録した。
- ② 大学生・男性：四国内で国際協力活動を実施している団体や活動地域について教えてほしいと相談があり、四国内で活動する団体を当団体が作成した冊子を見せながら情報提供した。
- ③ 主婦・女性：フェアトレードについて以前から興味があったが、具体的にどのような

取組みをしているのか教えてほしいと相談があり、フェアトレードについての説明、愛媛県内、全国でのフェアトレードの取組みや取扱い店舗、商品について紹介した。

- ④ 大学生・女性：国際協力に興味のある大学生でグループを作って途上国で学校建設をしたいと考えていると相談があり、まず何のためにどこで実施するのか等について聞き、学生だけで実施するには限界もありその後のフォローアップも必要なため、NGOと連携して建設することなどアドバイスした。
- ⑤ エジプト支援団体・女性：最近、情報交換ができていなかったため、四国内のNGOの活動状況、当団体の最近の活動状況について提供依頼があったため、国内外活動について紹介した。



以上

平成 24 年 1 月 7 日

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

(団体名) 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク  
代表理事 竹内よし子 印

### NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、ご報告いたします。

#### 記

1. 企画名：日本 NGO 連携無償資金協力に関する勉強会  
【形態：相談対応サービス・講演・その他（N 連に関する勉強会開催）】
2. 出張者氏名：  
竹久佳恵（特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構）  
竹内よし子（特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク）
3. 依頼元／主催団体名等：特定非営利活動法人国際地雷処理・地域復興支援の会（IMCCD）
4. 実施場所：えひめグローバルネットワークネットワークオフィス  
（松山市東雲町 5-4）
5. 実施日時：12 月 19 日（月）13：30－16：30
6. 実施の概要  
本企画は、第 2 回 NGO 相談員連携会議を受け、NGO 相談員として N 連申請の取次、近隣の NGO 同士の連携・能力強化のために実施した。  
日本 NGO 連携無償資金協力事業の経験のある AMDA と連携し、プロジェクト形成、N 連の申請・実施・評価の段階で気をつけること等について、勉強会を開催した。また、NGO 連携無償資金申請予定のカンボジア（IMCCD）とモザンビーク

(EGN)、ベトナム(研修生招聘協会)の具体的な事例を交え、質疑応答・意見交換を行った。以下は、当日行った相談対応の内容である。

- ① 採択に時間がかかると聞いたが少しでも短縮する方法などあれば教えてほしいという質問に、審査の段階で在外公館への申請書(正)を提出し、本省に申請書(写し)を提出することが可能であり、同時に出すことで少しでも時間短縮につながるであろうと回答した。
- ② 単年度申請となっているが複数年を視野に入れた申請は可能かという質問に、申請時に3年分の事業計画・予算をあらかじめ想定した申請書を作成し、その1年目として提出するとよいと回答した。
- ③ 実施中の外務省とのやりとりに際して気を付けておくべき点など教えてほしいという質問に、担当者によって対応や質問のポイントも違うが、必ずやりとりは口頭ではなく、文書・メールで記録を残しておくこととよいと回答した。
- ④ 各種手続きに際して、賄賂の要求があったときはどう対応しているのかという質問に、毅然とした態度をとり、賄賂は渡さないと回答した。対処方法として、現地政府と外務省の二国間協議をする際にNGOも出席して、どのような場で手続きに時間がかかっているということについて相手政府に問題点を伝える方法、場合によっては外務省経由で相手政府にNGO関連の手続きについての改善を提案してもらう方法も考えられると回答した。
- ⑤ ベトナムから研修生を招いて愛媛県内で研修を組みたいがどのような形で招聘し資金獲得ができるかという質問に、郵政事業株式会社の助成金でモンビークから研修生を招聘した事例について共有した。また、研修生を受け入れる際にNGO同士で協力しあうことが可能であり、それぞれのニーズを汲んだ連携プログラムを組むことができるようにアレンジが可能であるという確認ができたので、具体的に進めてほしいとの要望があった。
- ⑥ 今回のような国際協力活動を行っている団体同士の勉強会、例えばスタディツアーをテーマに開催してほしいという要望があり、相談員としてテーマを決めた勉強会のアレンジは可能と回答した。



平成 24 年 1 月 6 日

外務省国際協力局  
民間援助連携室長 殿

(団体名) 特定非営利活動法人沖縄 NGO センター 団体印

NGO 相談員による出張サービス実施企画について (ご報告)

NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたのでご報告致します。  
記

1. 企画名：「世界の国からメリークリスマス」  
【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他 ( )】
2. 出張者氏名：玉城直美
3. 依頼元／主催団体名等：特定非営利活動法人沖縄 NGO センター
4. 実施日時：平成 23 年 12 月 10 日 11 時 30 分～15 時 30 分
5. 実施場所：沖縄キリスト教学院大学

6. 企画の概要

①「世界の国からメリークリスマス」親子で参加する国際理解教育プログラムの実施を行った。  
県内 NGO 数団体が集い、国際理解に楽しく触れながら世界を理解する一日体験プログラムで、沖縄 NGO センターでは、「子どもの貧困」をテーマに、クリスマスを迎えることが出来ない子どもたちが世界にはいることを理解するためのブース運営を行った。

② 参加者 (予定)：親子 30 組 約 100 名  
イベント運営：沖縄県内 NGO 4 団体

7. 所感

・初めての親子対象のプログラムに参加させてもらい、低年齢の子ども達から大人まで関心を持ってもらう展示の構成に苦労したが、簡単なカード遊びや民族衣装・楽器等を用いて興味を引き付けることは出来たと感じている。

・親子共々が学びあう国際理解プログラムの提案は、これまでの相談型ではなく、ワークショップの提案、参加型の易しいプログラムの開発が必要であるため、今後の改善を元に出張サービスの広がりにつながると思われた。



世界のクイズ、貧困を学ぶカード



沖縄と世界のつながりを学ぶカルタ